



かみさと

議会だより

平成25年3月

No. 58

■発行／上里町議会 ■編集／議会だより編集委員会 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木5518番地 TEL.0495-35-1216(直) FAX.33-2429

造成工事が進む 上里サービスエリア周辺地区 整備事業



上り線側

■現在、上里サービスエリア周辺地区整備事業の産業団地造成工事が進められています。



下り線側



上里町マスコットキャラクター
こむぎっち

もくじ

12月定例会・臨時会議案等の審議状況	2～3
一般質問	4～8
議員研修	9
議会日誌、編集後記等	10





12月定例会

12月6日～14日

同和対策審議会条例等を廃止 一般会計・特別会計等の補正予算を可決

12月定例会は、12月6日に開会され、議員5名の一般質問と平成24年度補正予算を中心とする町長提議案10件を審議して14日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。

条例等関係

- 防災会議条例及び災害対策本部条例の一部を改正する条例について
※審議結果 原案可決
- 災害対策基本法の一部を改正する法律が施行されたことに伴うものです。
- 同和対策審議会条例等を廃止する条例について
※審議結果 原案可決
- 人権施策の見直しにより、関係条例を廃止するものです。
- ※審議結果 原案可決
- 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について
※審議結果 原案可決
- 白岡町の市制施行及び蓮田市白岡町衛生組合の名称変更に伴うものです。

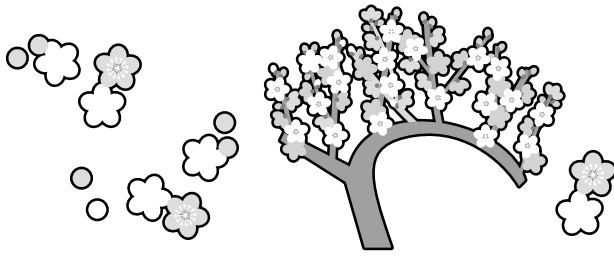
契約関係

- 専決処分の承認を求めることについて
※審議結果 原案可決
- 平成24年度一般会計補正予算を11月21日付けで専決処分したので、その承認を求めるものです。
- ※審議結果 承認
- 工事請負契約の変更について
※審議結果 承認
- 上里町立賀美小学校体育館改修工事の変更を行なうものです。
- ・当初の契約金額 889万3千5百円
- ・変更による増額 752万8千5百円

補正予算関係

- ・変更後の契約金額 964万3千5百円
- ※審議結果 原案可決
- 24年度一般会計補正予算
○歳入歳出それぞれ8074万5千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ88億164万6千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。
- ・衆議院議員総選挙事業 1098万2千円
- ・一般管理給与費 452万円
- ・財産管理事業 257万1千円
- ・庁舎管理事業 130万円
- ・消防施設整備事業 175万円
- ・徴収事業 326万2千円
- ・交通安全対策事業 140万円
- ・放課後児童対策事業 127万4千円

・長幡保育園運営事業 406万8千円	・こども医療費支給事業 993万3千円	・母子衛生事業 227万7千円	・公園管理事業 132万1千円	・小学校管理運営事業 126万8千円	・中学校管理運営事業 104万9千円
・重度心身障害者医療費支給事業 303万5千円	・介護保険事業 190万9千円	・土木管理事業 177万円	・商工業振興事業 264万円	・小学校教育振興事業 584万2千円	
・ひとり親家庭等医療費支給事業 139万9千円	・介護保険特別会計、水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。	・上里サービスイリア周辺地区道路整備事業 660万円	・公共下水道事業特別会計繰出金 264万円	・中学校教育振興事業 112万円	
・遺跡保存事業 261万9千円					



・中学校教育振興事業
87万9千円

・公民館管理事業
261万9千円

※審議結果 原案可決

■この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計、水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

1月臨時会

1月30日

■課設置条例の一部を改正する
条例を可決

■議会政務活動費の交付に関する
条例を可決

条例関係

◎課設置条例の一部を改正する
条例について

○人権施策の見直しや福祉・医療・子育て等の業務手続等の利便性向上のため、課の新設や統廃合をするものです。

●課の廃止
・人権共生課

●課の新設
・町民福祉課

・子育て共生課
・高齢者いきいき課

●課の改編
・健康保険課
・まち整備環境課

※審議結果 原案可決

◎議会政務活動費の交付に関する
条例について

○地方自治法の一部改正によるものです。

※審議結果 原案可決

◎議会委員会条例の一部を改正する
条例について

○地方自治法の一部改正によるものです。

※審議結果 原案可決

◎議会会議規則の一部を改正する
規則について

○地方自治法の一部改正によるものです。

※審議結果 原案可決

「議会だより」に対するご意見
質問等がございましたら、議会事
務局までご要望をお寄せ下さい。

より良い議会だより作成の為の
参考にさせていただきます。

一般質問



議席番号

8 番 新 井 實

〔質問事項〕

1. 孤立・孤独死の未然防止対策について
2. 再生エネルギー事業による地域活性化について
3. いじめ対策と教育委員会のあり方について
4. 生活保護改革について
5. 老朽水道管の漏水や破裂対策について
6. 上里サービスエリア周辺地区整備事業地域への進入道路について

1 孤立・孤独死の未然防止対策について

〔問〕民間事業者との孤立・孤独死防止協定の締結について伺います。

〔答〕上里町でも65歳以上の高齢者世帯が増加傾向にあり、地域ぐるみで高齢者を見守る体制が必要と考えており、関係機関等の連携をとりながら地元事業者との孤立・孤独死防止協定の連結に向けて検討していきたいと考えております。

2 再生エネルギー事業による地域活性化について

〔問〕町有地を利用した企業や町民出資の発電事業の推進について伺います。

〔答〕町の下水道終末処理場予定跡地に太陽光発電施設を設置する場合には、この場所が第一種農地ということでの用途変更には、新たな許可が必要となり難しいものと考えます。上里町としては、現在、埼玉県が「県有施設の屋根貸

しによる太陽光発電設置」を開始しており、これらの事業の進展を見ながら可能な事業があれば検討したいと考えております。

3 いじめ対策と教育委員会のあり方について

〔問〕学校における、いじめ問題の対応と対策及び教育委員会のあり方を問い直すことについて伺います。

〔答〕上里町では、学校教育指導室内にいじめ問題への対策づくり会議をもち、学校でいじめが起きた場合の早期発見・対応ができる組織づくりと各学校への指導と推進を行ってきました。また、上里町教育委員会では、定例会で必要な情報は日頃より適切に提案し、情報の共有化を図り、課題解決の方策等についても十分審議されております。

4 生活保護改革について

〔問〕現況の生活保護費受給制度の問題点と今後の多角的な生活困窮者支援政策の適正化について伺います。

〔答〕上里町では、今後も生活保護受給者の自立に向けた就労支援や不正受給などの業務については、実施機関である福祉事務所と連絡を密にし、情報提供や現状の情報の共有などを行っていききたいと考えております。

5 老朽水道管の漏水や破裂対策について

〔問〕老朽水道管の漏水や破裂に対する町の今後の対応について伺います。

〔答〕老朽管の布設替えについては、民地内に布設している箇所を布設替えを優先し、漏水防止に努めてまいります。

6 上里サービスエリア周辺地区整備事業地域への進入道路について

〔問〕上里サービスエリア周辺地区整備事業地域のリーパーサイドロードへの17号国道から近道の進入路整備について伺います。

〔答〕この道路は、県道児玉新町線の天神地区を通るルートであり、JR高崎線の踏切付近から天神中通り地区の一定区間の道幅が狭く、歩道もない危険な区域のため、埼玉県が平成24年度から道路整備を計画し、平成27年度完成を目標に事業推進予定とのことであります。



県道児玉新町線勅使河原地内

一般質問



議席番号

2 番 山 下 博 一

〔質問事項〕

1. 健康寿命について
2. 農業振興施策について
3. 道路の無電柱化について

1 健康寿命について

〔問〕 特定検診制度が導入され、約5年が経過して制度の見直しや、医療費削減効果などについて伺います。

〔答〕 町の特定検診の受診率は年々向上し、平成23年度は30・8%です。医療費は、平成23年度の一人あたり費用額は、町村平均が29万711円に対して、上里町は27万995円です。高齢者世帯への訪問指導は、地域包括支援センターで介護予防対策として、生活習慣病予防等の訪問指導を行っています。

〔問〕 健康寿命の推進について伺います。

〔答〕 健康寿命を延ばすことは、健康で自立した生活を送れるよう生活習慣病予防に心がけることが大切です。町は、介護認定者を除いた65歳以上の高齢者を対象に、心身機能の低下の兆候を判断する「基本チェックリスト」を郵送し、高齢者の実態把握をした、その結果から地域包括支援係が

介護予防教室等で「元気アツプ倶楽部」を開催しています。健康長寿の小鹿野町モデルを参考に健康づくりの場として、空き家を活用した健康サロンのモデル地区の提案についても検討いたします。



健康づくり応援塾

2 農業振興施策について

〔問〕 首都圏を見据えた食料安定供給のための優良農地の確保について伺います。

〔答〕 町及び農業委員会は、食料安定供給のため、耕作放棄地の減少・解消を目指し農地の適正な利用を指導

しています。農地バンクへの斡旋も行っています。町全体の耕作放棄地は、11町歩2反で、今後、優良農地の確保に引き続き努めます。

〔問〕 農業の6次産業化等による所得増大への取組みについて伺います。

〔答〕 6次産業化は、農業者と商工業者による農商工連携で高付加価値の新商品の開発で、新たな市場創出、地域の雇用機会の拡大を目指します。意欲ある認定農業者・中核的担い手農業者は、本庄農林振興センターと連携して農業者が生産・加工・流通・販売を一体化し、所得を増大できる産地ぐるみの取組みのため、農商工連携の推進を図ります。

※6次産業は、農業や水産業などの第1次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態を表します。

〔問〕 農産物の上里ブランド育成を目指した、B級グルメ大会開催について伺います。

〔答〕 B級グルメ大会の開催

について、町のB級グルメには一番親しみのある小麦粉を使用した家庭料理から始めてみたい「手打ちうどん」「つみっこ」「おきりこみ」などが候補で、実際に町のB級グルメを考案するにあたり、商工会・農協女性部・サラ・農産物加工研究会等の協力のもと、町の特産品である小麦の活用を図り、B級グルメのあり方を商工会等と検討いたします。

3 幹線道路の電線を埋設するについて

〔問〕 道路利用者への安全な道路を目的に、また、防災や景観から道路の無電柱化の推進について伺います。

〔答〕 電線類の地中化が進まない理由は、膨大な費用を要します。安全・安心な通行区間の確保や良好な景観や住環境の形成、災害防止など無電柱化のメリットが挙げられます。今後、予算の状況を踏まえ電線類の地中化、無電柱化を研究いたします。

一般質問



議席番号

5番 納谷克俊

〔質問事項〕

1. 水道事業について
2. 教育尊重の町宣言について

1 水道事業について

〔問〕40年以上経過している老朽管、石綿セメント管の延長及び割合はどの位になるのでしょうか。

また、改修の事業費はどの位になると見込まれているのでしょうか。

〔答〕町全体で約89・3kmの老朽管が布設されており、そのうち、民地内の老朽管は約9kmです。石綿管の割合は49・8%になります。

仮に全ての老朽管を布設替えすると概算で38億円の事業費が必要になると考えられますので、財政面及び事業効果を勘案して事業計画を検討していきたいと思っています。

〔問〕現在、上里町浄水場の機械電気設備の更新事業、老朽管・石綿管の布設替えが行われています。また、将来的には、第二浄水場の機械電気設備の更新事業が必要になるかと

と思いますが、長期的な設備投資計画は検討されているのでしょうか。



上里町浄水場

〔答〕石綿管更新工事が、今後5年間で約2億9千万円、上里町浄水場機械電気更新工事が、残り2ヶ年で3億2千万円の事業費を投資する予定です。

また、第二浄水場は稼動して14年経過することから更新事業計画の策定を検討していきたいと考えています。

今後は、水道企業会計の財政状況並びに全体事業を見据えながら検討していきたいと思っています。

2 教育尊重の町宣言について

〔問〕宣言の制定から35年が経過しました。人権施策の見直しや各小学校の耐震化、上里中学校の改築工事着工など、制定当時とは状況が大きく異なってきたり、今後改定する必要性を感じます。町長は如何お考えでしょうか。

〔答〕この35年間、「教育尊重の町宣言」に基づき、教育に関する諸施策を実施し、宣言内容に見合う成果があったと考えています。



浄水場の機械電気設備

ます。人権施策の見直しにより「同和問題の根本的解決を図るため、特に社会同和教育の推進につとめる」に関する項目、上里中学校校舎の改築などにより「教育環境整備等の優先実施」に関する項目について見直しが必要です。

現在、内部において見直しの検討を始めており、今後、素案を作成して教育委員会等の意見を求めるとともに議会に提示して意見を伺い決定していきたいと考えています。



一般質問



議席番号

10 番 沓 澤 幸 子

〔質問事項〕

1. 同和対策事業終了にあたって
2. 住宅リフォーム補助制度と地域業者支援策について
3. 税金の延滞金免除について

1 同和対策事業終了にあたって

〔問〕長年続けてきた同和対策事業の終了にあたり、事業総額について伺います。

〔答〕特別措置法終了前の33年間と、終了後、平成23年度までの総額は52億1131万1000円であり、町の負担分は17億1748万8000円です。

〔問〕平成21年度決算では、人権・同和事業の経費総額は、約4555万円でした。今年度ベースの経費を伺います。

〔答〕同和対策事業の経費総額は3128万8000円ですが、県費補助を除く町負担分は2451万7000円です。今後もあるのでは、人権問題もあるので、全てが廃止による財源ではありません。

〔問〕同和対策事業の終了は、行政が町民を差別せず、全ての町民が平等のサービスを受けられることに価値があります。同和対策事業を止めることで不要になった予算を①子育て支援

策、②高齢者支援策に生かすことが大事です。学校給食費月額1000円補助、長寿祝い金を75歳以上の方に毎年支給しても2813万円可能です。

〔答〕仮に給食費を1000円補助すると、2863万円3000円です。長寿祝い金も他市町と比べて低い方ではありません。25年度は、隣保館や集会所の一部解体工事などもあり難しい状況です。



学校給食

〔問〕同和対策事業の一環で、住環境整備の促進として貸し付けたお金が26人で7576万7290円滞納です。全く返済していない13人の方について、運動団体の責任も求める必

要があると思います。

〔答〕公平性の観点から引き続き回収に努力してまいりたいと思います。

2 住宅リフォーム補助制度と地域業者支援策について

〔問〕町が地域経済の活性化及び居住環境の向上を図ることを目的に2007年から行ってきた「住宅改修資金補助金交付金（住宅リフォーム補助）」も2012年度で終了します。補助率10%で最高5万円の補助内容を改善し、継続することと耐震診断補助・耐震改修補助について伺います。

〔答〕一定の経済波及効果があると考えます。今度は、省エネ・省電力というエコで環境に優しい視点を加え、2年間継続する方向です。耐震診断・耐震改修に対する新たな補助も25年度から検討しています。

〔問〕町の商工業振興費は、町商工会補助金1083万円と住宅改修等資金補助金200万円です。2年前、要望した町内業

者の実態把握を行い、今後の地元業者の育成と活性化対策についてどうお考えでしょうか。

〔答〕町の事業を通して地元業者の受注を増やすことと、町内に進出する企業を誘致し、雇用と消費の拡大を図りたいと思います。

3 税金の延滞金免除について

〔問〕近年全国的にも、延滞金の減免に関する規定を制定し、高い利息の軽減をしている自治体が生まれています。支払い困難者に対し、執行停止を行うこととあわせ、税条例の施行規則の一部改正を行い、延滞金（年利14・6%）の軽減・免除の実現を図ることについて伺います。

〔答〕町では、本税を優先して納付をしていただく扱いを行っています。16条では5項目の規定をし運用しています。救済できる人を増やせるようにということだと思えますので、他市町村を参考にし、研究してみたいと思います。

一般質問



議席番号

6番 中島 美晴

〔質問事項〕

1. 生活保護制度について
2. 投票率の向上について
3. 省エネ・節電対策について

1 生活保護受給者の自立支援に向けて

〔問〕埼玉県は、生活保護受給者の自立支援に向けて、生活保護受給者チャレンジ支援事業（アスポート）の取組みをしています。教育・就労・住宅支援の3つの柱からなる生活保護を利用しての方への支援を行います。

そこで、上里町のアスポート事業対象者の現状についてお聞きます。

〔答〕12月現在で、教育支援員事業の訪問を受けている人は1人です。住宅ソーシャルワーカー支援を受けている人が3人、職業訓練支援員事業を受けて自立を目指している人が2人です。

※アスポートとは、あしたへのサポートとみんなの助けであしたに向かって船出する港、ポートの2つの意味を組み合わせた造語です。

〔問〕行政の目が届かず、民生委員の見守り対象外となっている方たちがいます。そうした人たちの中で、経済的困

窮者や社会的孤立者などの要保護者に対する緊急時の対応や連絡体制は、どうなっているのか見解をお聞きます。

保護が必要になった場合、町としては、どのような手続きがとられるのでしょうか。

〔答〕北部福祉事務所と連携を図りながら、保護を必要としている人が、迅速にサービスにつながるよう努めて参りたいと考えています。特に緊迫した状況にある要保護者に対して、緊急措置として執務時間外でも警備員が対応し、担当に連絡があります。

2 投票率の向上について

〔問〕今後、執行が予定されている選挙を踏まえて、さらなる投票率の向上に向けての観点から、選挙の期日前投票受付事務の簡素化について伺います。上里町も投票所入場券の裏面に、期日前投票を行う際に必要な宣誓書への記入欄を印刷し、投票人は事前に

記入した上で期日前投票ができるよう改善すべきと考えますが、いかがでしょうか。選挙管理委員会委員長に伺います。

〔答〕期日前投票の投票率のアップや事務改善を考慮し、先進地の実績を確認しながら今後、検討してまいりたいと思います。

〔問〕視覚障がい者の投票環境の向上に向けた対策について伺います。

〔答〕視覚障がい者にとつては、点字のみならず音声で聞くことのできる選挙公報、コンパクトディスクなどは効果的なもの



と思います。今回の衆議院選挙については、県の選挙管理委員会から点字あるいはコンパクトディスク・カセットテープなどを若干部、市町村に送付する予定になっています。

3 リース方式を活用した省エネ・節電対策について

〔問〕逼迫する電力事情と省エネ対策を推進するための一つの手法として、民間資金を活用したリース方式によって、公共施設へのLED照明導入を進める動きがあります。リース方式を活用することにより、新たな予算措置をすることなく、電気料金の節減相当分でリース料金を賄うことを可能とするものです。

上里町も、こうしたリース方式によって、庁舎照明のLED化の導入を取り入れたらいかがでしょうか。

〔答〕役場庁舎での採用を考えてまいりたいと思いますが、多様な調査や調整が必要であると考えています。

児玉郡町議会議員 後期研修会

2月5日(火)午後2時から、神川町役場2F会議室で平成24年度児玉郡町議会議員後期研修会が行われました。

研修に先立ち永年在職議員の表彰がおこなわれ、10年以上の在職で上里町議会から4人の議員が表彰されました。

研修会はテレビ番組などでも活躍されている防災システム研究所所長の山村武彦氏を講師として迎え、「地域の防災と危機管理について」というテーマで講演いただきました。

講師の山村氏は学生時代に遭遇した新潟地震でのボランティア活動を契機に研究所を設立され、以来現場主義を掲げて地震、津波、噴火、土砂災害、テロ、事故など150カ所以上の災害現地調査を実施されている実践的防災・危機管理対策の第一人者です。講演内容は自身の経験をもとにしたより実践的な話であり、インフラの劣化対策から防災心理、地域防災計画など多岐にわたりわかりやすい

内容でした。

中でも防災危機管理における優先順位の決め方として、結果の重大性で判断することの意義や、それらを地域防災計画に反映させることの重要性について建て前ではなく本音のお話を聞くことができました。上里町でも地域防災計画の改訂を進めている時期であり、講演にもあったように「フレーム型」の計画から「ネットワーク型」へと改めていく必要性を強く感じました。

また、議員の役目として住民への防災意識の啓発、



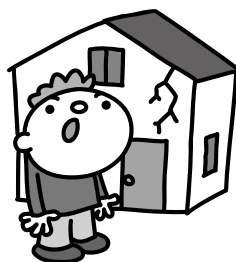
平時における防災民度の向上が求められるなど、私たち議員がとるべき行動についても具体的な事例を示しながら説明され、参加者一同あらためて災害に対する日々の備え、訓練の必要性を痛感致しました。

講演の後段では安心コミュニティづくりについて、阪神淡路大震災での実例や東京都における「東京防災隣組」の取組みなどを示しながら「近所の精神」と「防災隣組」の大切さを訴えられました。

その中でも「遠水は近火を救わず」「逃げる防災から闘う防災」という言葉が強く印象に残りました。地域の防災と危機管理においては行政だけではなく、自助・近所(防災隣組・共助・自主防災の各レベルにおいても防災数値目標の設定など、具体的な目標をたてること、そしてなによりもほどよい距離感で近隣住民の方々に関心を持つことが大切であるとのことでありました。

「日本中どこにも安全な

場所はない」「いつでもどこでも震度6強の地震に備えることが必要」「守られる人から守る人へ、助ける人から助けられる人へ」という講師の言葉から、比較的災害が少ないと言われていた上里町だからこそ、常に議員として頭において行動しなければならぬと痛感しました。



議 会 日 誌

12 月

- 5 日 年末年始特別警戒出陣式
 6 日 12月定例会初日
 開会、町長の行政報告
 6 日 一般質問
 7 日 一般質問
 10日 議案審議（条例等、補正予算）
 14日 定例会最終日
 14日 全員協議会
 26日 本庄上里学校給食組合議会
 26日 埼玉県後期高齢者医療広域連合議会
 27日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

1 月

- 1 日 元旦歩け走ろう会
 12日 こだま青年会議所新年名刺交換会
 13日 上里町消防団・署出初め式
 13日 上里町成人式
 15日 県・市町村議会議長新年懇談会
 17日 上里町商工会賀詞交歓会
 24日 児玉郡町村会賀詞交歓会
 25日 児玉工業団地工業会賀詞交歓会
 30日 臨時議会
 30日 全員協議会
 30日 議会だより編集委員会
 31日 上里北中学校開校30周年記念式典

2 月

- 5 日 児玉郡町議会議員後期研修会
 8 日 上里中学校50周年記念事業
 15日 埼玉県町村議会議長会正副議長、
 局長合同研修会
 15日 彩の国さいたまづくり広域連合議会
 19日 議会だより編集委員会
 21日 本庄上里学校給食組合議会
 22日 議会運営委員会
 26日 児玉郡市広域市町村圏組合議会



新井議員・荒井議員・中島議員・納谷議員
 児玉郡町議会議長会から表彰されました

2月5日（火）神川町役場
 で開催された、児玉郡町議会
 議長会主催による後期研修会
 において、優良議員（永年在
 職者）として地方自治の進展
 に寄与された功績により表彰
 されました。
 受賞おめでとうございま
 す。



3月定例会を傍聴しませんか

■手続きは簡単です■

定例会は、3月4日（月）に開会の予定です。
 なお、一般質問は、18日（月）、19日（火）の2日間の予定です。

●お問い合わせは議会事務局へ

電話 35-1216（直通）

6月定例会の一般質問は、会期初めを予定しています。

編集後記

冷たい北風もやわらぎはじめ、この議会だよりが皆様のお手元に届く時には、春の息吹を感じられる頃になっているかと思っています。

3月といえば卒業式。町立小学校2校では体育館の耐震改修工事が実施されており、綺麗になった体育館で卒業証書の授与が行われ母校を巣立っていきます。

さて、もうすぐ開会される3月定例会は、町の新年度の予算案等を審議する重要な議会となります。是非、多くの住民の皆様が傍聴をしていただき、議事を身近に感じてもらいたいと思います。

議会だより編集委員会				委員長	副委員長	委員
				荒井 肇	伊藤 裕	新井 實
						納谷 克俊
						山下 博一
						植原 育雄

